

「学校教育目標」と「令和7年度重点目標」にむけて			
学校教育目標	笑顔いっぱい	いのちかがやけ	花園の子

保護者・地域の願い

- ・学力の向上
- ・毎日楽しく学校に通う
- ・いじめのない学校
- ・地域と共にある学校
- ・相談しやすい学校
- ・安全安心な学校

目指す子どもの姿

- 深く考え自分から進んで学びとる子ども（創造）
- みんな仲良く力を合わせ明るい生活を作り出す子ども（協力）
- 心と身体の健康に気をつけ何事も最後までやり抜く子ども（健康）

学校職員の願い

- ・学力の向上（基礎基本の徹底）
- ・自ら考え、問題を解決できる
- ・挨拶、言葉遣い
- ・いじめのない学校
- ・思いやりの心
- ・家庭学習の充実
- ・規則正しい家庭生活

重点目標「わかる、できる、つなげる！花園の子」～明日を創る力を育む花園小学校～

未来を創る力の育成

- ①令和の日本型学校教育の構築を目指して
（個別最適な学びと協働的な学びの一体化、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（5つの視点（見通しと振り返り））⇒（わかる、できる、つなげる 自己肯定感の醸成）
- ②小中連携等による授業改善、指導力向上（授業改革×ICT, 働き方改革×ICT）
（学校DXを活用した教育の充実、働き方改革の実施、外国語専科、理数専科による授業の実施）
- ③インクルーシブ教育の視点に立った特別支援教育の充実
（「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」による指導の充実、交流学級および共同学習を推進し、インクルーシブ教育システムの確立を図る（交流学級と特別支援学級それぞれで、所属意識を持つ）
- ④個に応じたきめ細やかな学習形態の工夫（TT, 習熟度, 専科（教科担任）, 近隣小中専科指導, かがやき学習）
- ⑤学習規律、学習環境の徹底（ノート指導, 家庭学習〇を〇に）

豊かな心の育成

- ①生徒指導の充実
 - ・相手を認め、思いやる気持ちを育む学級、学年経営、コミュニケーション能力、自己肯定感の醸成
 - ・家庭と連携した基本的生活習慣と規律や規範意識の徹底
 - ・いじめ、不登校を生まない
- ②道徳の授業を要とした道徳教育の充実「いのちの日」
- ③キャリア教育と結び付けたふるさと教育の推進
- ④目的を意識した自主的活動の推進（砂まきボランティア、児童会活動の充実）
- ⑤読書環境と読書活動の充実（学校図書館司書の協力・連携）

健やかな体の育成

- ①授業改善・体力づくりの推進（結果が目に見える体力づくりの推進、授業改善（わかる、できる、つなげる 自己肯定感の醸成）
- ②新体力テスト全校実施と分析・活用、体力低下項目の徹底強化
- ③生命の尊重や健康への意識（いのちの授業・食の指導）
- ④危機回避学習の推進（交通安全・不審者対策・薬物防止・防災教室・避難訓練・地域防災への参画）
- ⑤きれいで安全な学校環境づくりの推進（清掃活動・環境整備・安全点検活動）

家庭地域との連携・協働の推進/学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現

- ①学校が見える情報発信（HP・各種たより・メール・懇談・行事・学校運営協議会制度）
- ②菁園中学校との小中一貫教育の推進（9年間の共通目標『明日を創る力を育む花園小学校』）
- ③地域・保護者と連携した教育活動・社会体験活動の推進（ふるさと教育の充実・地域人材、教育力の活用・保幼小連携）

学 期	前 期		後 期	
ステージ	1（4月・5月） 学級づくりや生活・学習の基礎づくり。学ぶ意欲を高め、見通しを持たせる。個別目標の設定	2（6月～9月） 個の課題と方策を見定め、達成に向け、支援を進める。自ら学ぶ力の育成とわかる授業の工夫。	3（10月～12月） 高めあい、協力し合う中で成果を実感させ、自己肯定感を高め、長所を伸ばす。	4（1月～3月） 一年間の学習を振り返り、確かな力を蓄える。新たな課題や新学年の自覚を持たせる。
学級経営	仲間づくり・居場所づくり		協力・協働、コミュニケーションと高め合い	
学習指導	学び方と学習習慣づくり		実践・検証、実感と自信	
			定着と活用、確かな力	